

チャノキイロアザミウマ情報第4号

平成21年8月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生状況

7月下旬に行ったカンキツほ場周囲のイヌマキ（防風垣）におけるチャノキイロアザミウマの生息調査（県内22か所、10新梢の払い落とし虫数）の結果は、8.1頭（平年9.4頭、前年3.6頭）と概ね平年並です。南知多町のカンキツほ場に設置した黄色粘着トラップにおけるチャノキイロアザミウマの7月の誘殺数は平年並よりやや少なく推移していますが、蒲郡市に設置した黄色粘着トラップではやや多くなっています（図1）。

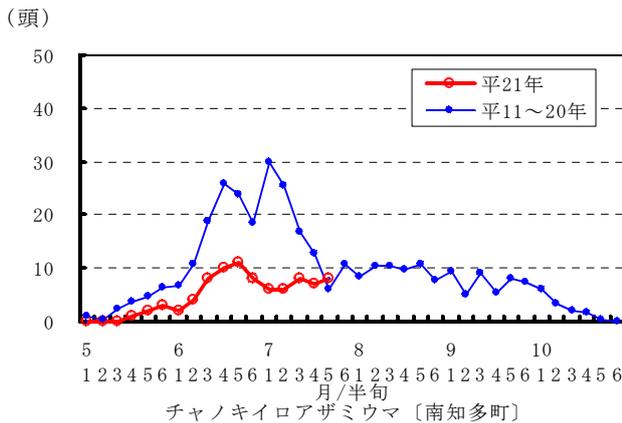
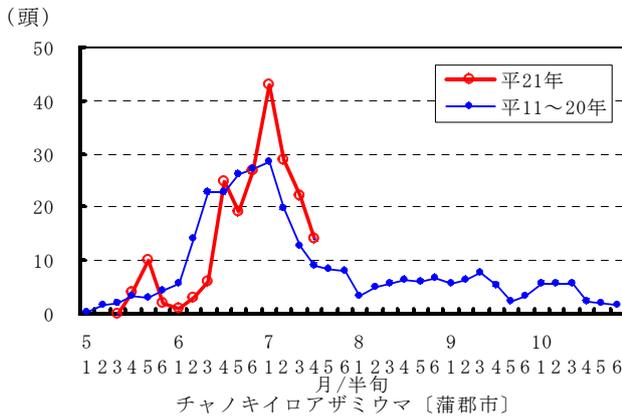


図1 黄色粘着トラップにおけるチャノキイロアザミウマの誘殺数(カンキツ)



図2 アメダスによるチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

2 発生ピークの予測と防除

アメダス気象データを利用した病害虫発生予測システム（JPP-NET）によりチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピークを算出したところ、図2および表1のように予測されました。成虫発生ピーク時の薬剤散布が効果的ですので、発生の多いほ場では表2を参考に薬剤防除をしましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（JPP-NET） 2009.8.3算出

世代	愛西	東海	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	稲武
第4世代	7/24	7/19	7/26	7/20	7/25	7/24	7/24	7/26	7/27	8/23
第5世代	8/11	8/7	8/14	8/7	8/13	8/12	8/12	8/13	8/15	9/17
第6世代	8/28	8/24	9/01	8/24	8/31	8/29	8/29	8/31	9/02	—

各地の気温は8月2日までは実測値を、それ以降は平年値を入れて算出しています。

表2 チャノキイロアザミウマに対する主な防除薬剤と使用基準

作物	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数/使用回数
カンキツ	ベストガード水溶剤	1,000~2,000倍	7日前/3回
カンキツ (ミカンを除く)	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	1,000~2,000倍	7日前/2回
ミカン	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	1,000~2,000倍	前日/3回
カンキツ	コテツフロアブル	4,000~6,000倍	前日/2回